

平成24年 1月－6月の事故発生状況（速報）

（第1四半期－第2四半期）

（北陸地方整備局発注の直轄工事）

☆事故件数は、第2四半期で、32件発生。（過去5年で最小）☆

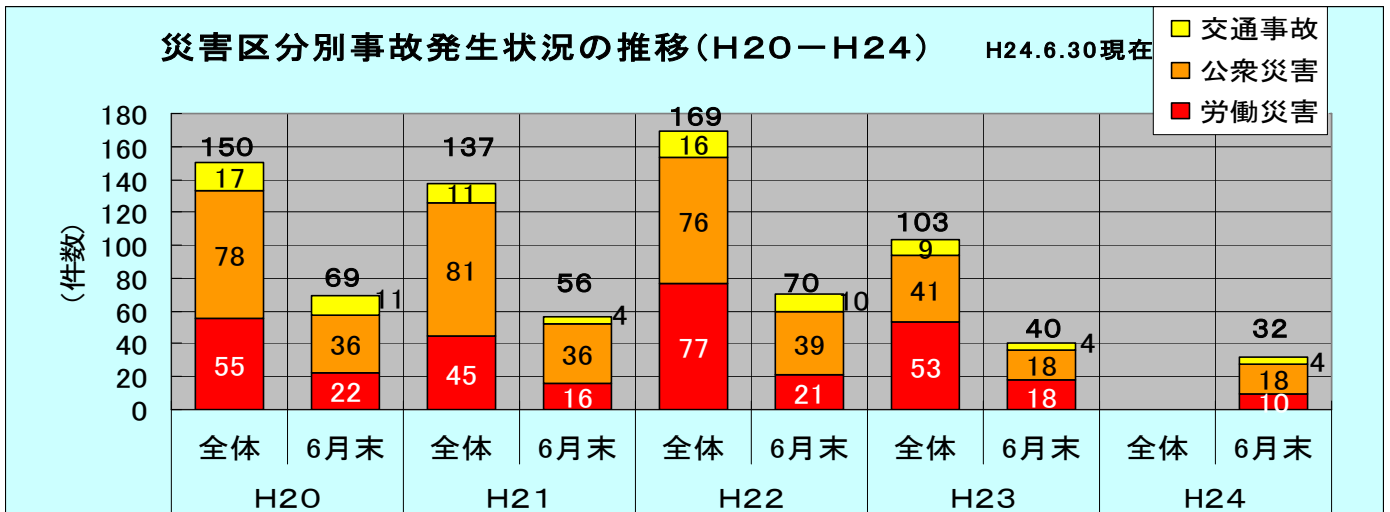
☆3月に水死事故、5月にトンネルに関する重大事故の発生☆

☆休業4日以上の発生割合は昨年より少ないが、死亡事故が2件発生☆

☆夏に向け、熱中症対策の徹底を！☆

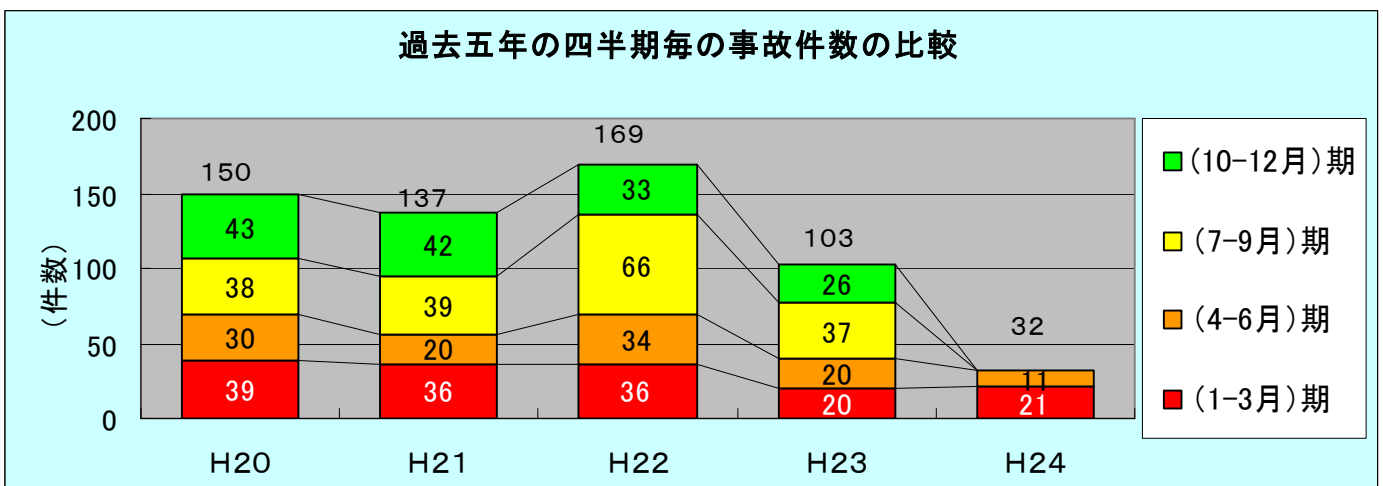
1. 工事事故速報の件数

第2四半期までで32件発生。件数では、過去五年で最少となっています。



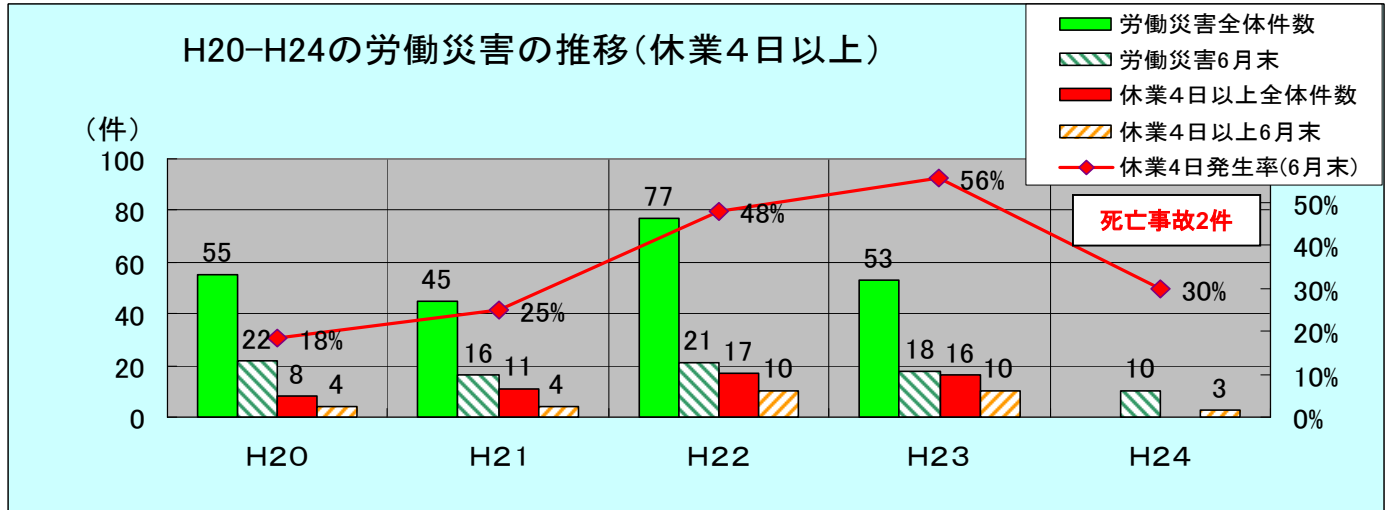
2. 各年の四半期毎の事故件数の推移

過去の事故発生状況は、第3四半期（7月－9月）に、事故が多く発生する傾向にあります。



3. 休業4日以上事故の占める割合

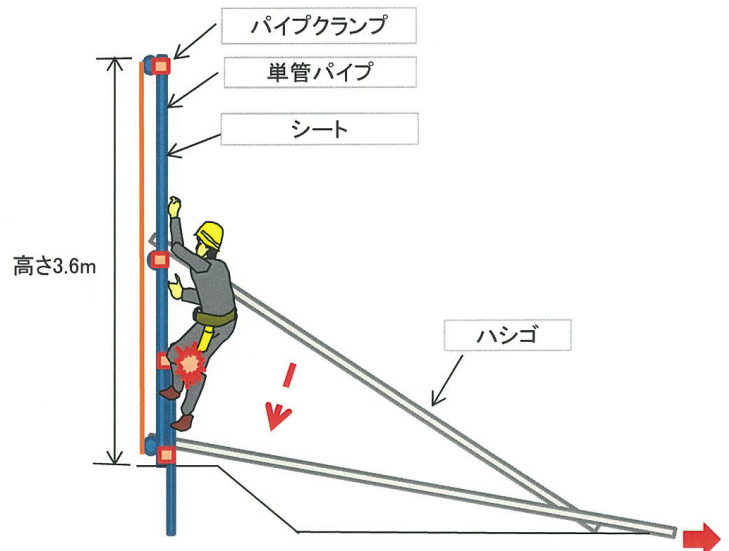
平成22年・23年は、休業4日以上重大災害の発生率が高い状況でした。本年は、率は高くありませんが 死亡事故件数が既に2件発生しています。



4. 平成24年発生のお事故事例

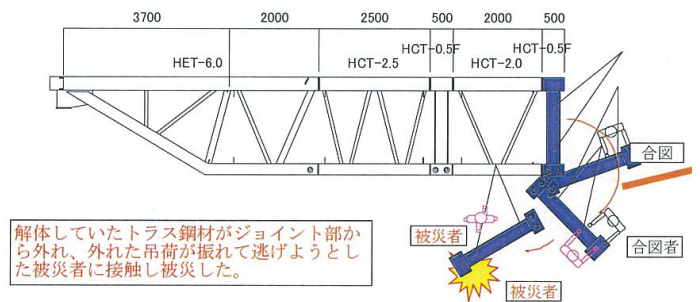
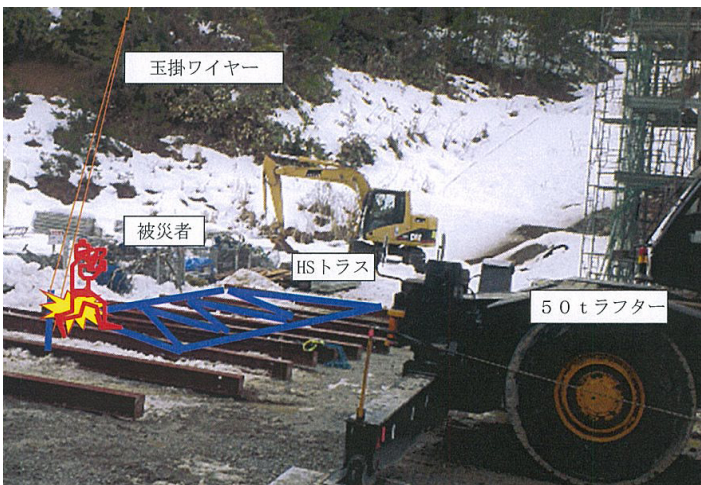
事例-1 墜落事故：「梯子からの墜落事故」

- 工事概要：砂防堰堤工事
- 事故概要：防音壁（単管骨組にシート張り）のシートの連結作業を、梯子により行っていた所、梯子がはずれ、作業員が単管パイプにしがみついたところ、ずりさがりパイプクランプに太ももを挫創。
- 事故原因：
 - ◆一人で作業を行った（作業手順書では二人による作業）
 - ◆安全帯の不使用（作業員は着用していたが使用していない）
- 防止対策：
 - ◆梯子使用時は、二人で作業を行うこと。
 - ◆安全帯の使用の徹底。



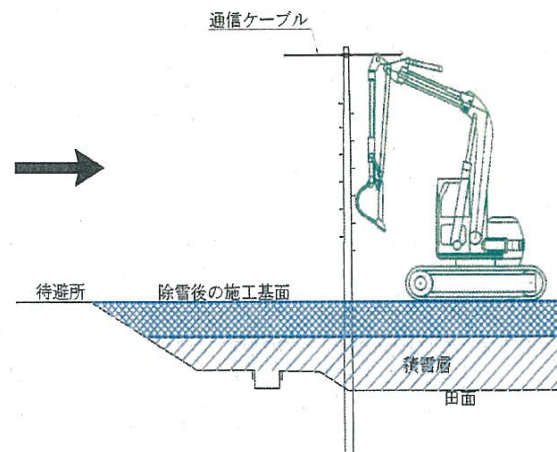
事例-2 取り扱い運搬：「クレーンを使った解体作業中の事故」

- 工事内容：PC上部工事
- 事故概要：資材ヤードで、トラス鋼材解体をクレーンを使用し作業中に、部材を引き離すため、部材を強く引いたところ、部材が外れその勢いで作業員の左足に部材が当たり打撲を負った。
- 事故原因：◆部材引き離しのため、作業員が強く引きすぎた。
◆次の部材受け入れのため、早く解体しようとした。
- 防止対策：◆押し出し側に立ち、工具（ボール）を使用しゆっくり押し出す。
◆作業工程が遅れた場合は、安全責任者および工事担当への報告を徹底する。



事例-3 架空線損傷事故：「雪捨て場でのBH作業による事故」

- 工事内容：自歩道工事
- 事故概要：工事箇所付近の待避路肩の民地側の雪をBHにて除雪作業を行っていたところ、光ケーブルにBHのアームが接触し切断した。
- 事故原因：◆BHのオペレーターが、雪により基面が高くなっていることを認識していなかった。
- 防止対策：◆架空線に目印をつけ、重機作業に合図者を配置。
◆KY活動時に現地の確認をおこなうこと。



5. 熱中症対策の徹底を！

熱中症に注意!!

○ 熱中症予防対策の徹底を!!

平成22年は、地整管内で22件、平成23年は7件の熱中症が発生しました。天候や場所にかかわらず、気温・湿度により熱中症の危険があります。熱中症が発生しないよう、予防対策を徹底しましょう。

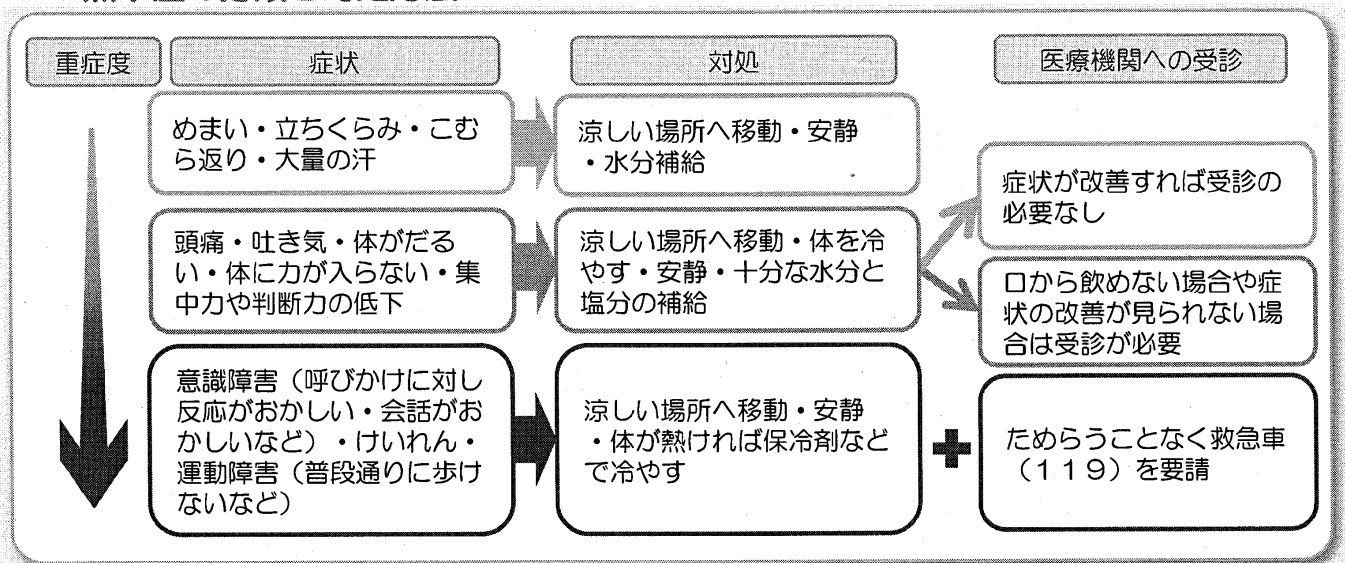
○ 暑さ指数（WBGT値）の活用

熱中症予防対策には、暑さ指数（WBGT値）の活用が重要です。労働局の熱中症予防サイトを参考にしてください。<<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2009/06/dl/h0616-1b.pdf>>

○ 熱中症予防情報サイト

熱中症予防情報サイトに各地の「現在の暑さ指数」と「今後の暑さ指数の予報」があるので熱中症予防対策の参考にしてください。<<http://www.nies.go.jp/health/HeatStroke/>>

熱中症の分類と対処方法



消防庁ホームページより
(<http://www.fdma.go.jp>)

※「建設事故データベース」SASについては、現在システムメンテナンスのため、データ入力出来ません。入力については、本局企画部技術管理課検査係(025-280-8880)まで問い合わせください。